

# 令和7年度学校運営方針について



大阪市立今福小学校  
校長 柳井 友裕

# 学校教育目標

「豊かな心をもち、  
地域社会でたくましく生きる子どもを育てる」

## めざす子ども像

- 「自ら考え、判断し、表現する」  
子ども
- 「人の気持ちを考えて行動する」  
子ども
- 「健康や体力に関心を持ち、  
たくましく生きようとする」  
子ども

## めざす学校像

- 子どもが「今福小学校でよかった」  
と言える学校
- 保護者が「今福小学校に通わせたい」  
と思う学校
- 地域が「今福小学校のためなら」  
と考える学校
- 教職員が「働き甲斐のある」  
「働きやすい」学校

# 教育を取り巻く環境について

働き方改革の  
推進

時差出勤・  
テレワーク

休憩・休息  
時間の確保

専科制推進  
中学年まで

チーム  
担任制

校務のDX

「3分類」  
に基づく業  
務の適正化

教育課程  
の見直し

授業時数の  
削減

45分  
→40分  
授業時間

不登校対策

スクール  
サポーター  
ルーム

授業改善の  
方向性（変化）

個別最適な  
学び

授業のDX

協働的な  
学び

授業力の向  
上（若手・  
ベテラン）

総合的読解  
力の育成

インクルー  
シブ教育

学びの  
共同体

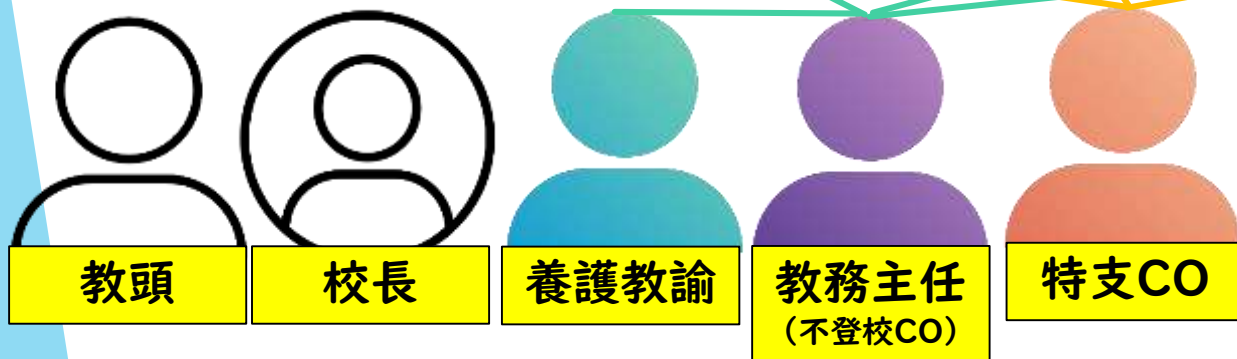
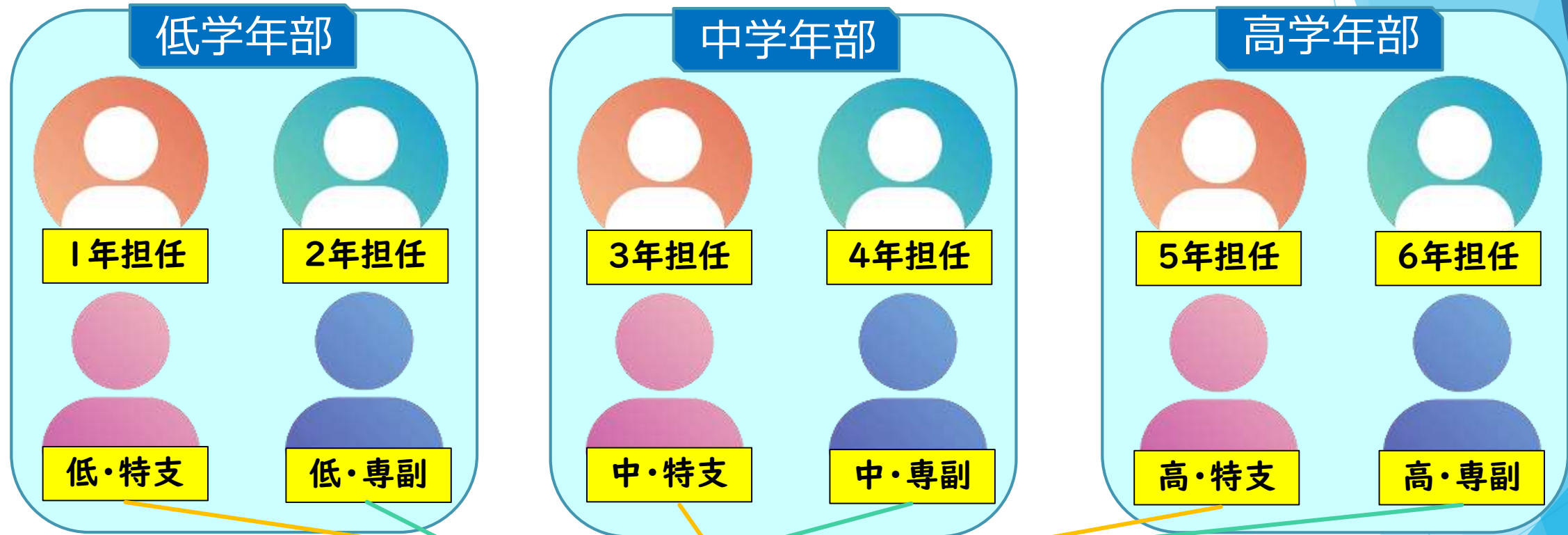
通級開始  
（R10年度）

イエナ  
プラン

# めざす子ども像・学校像を具現化する取組（R7年度版）

- ☆豊かな心を育成し、**自己肯定感**を高めるため、ゲストティーチャーを招いたり、校外の施設を見学したりするなど**体験活動を充実**させる。
- ☆一人ひとりに寄り添う**丁寧な指導**を実現するため、教育環境の整備を進めるとともに、教職員が共通理解を図りながら**組織的に対応できる体制**を整える。
- ☆「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた**授業改善**の取組を進める。
- ☆全学年で、児童がより英語に親しめるように、モジュール学習の充実や外部講師を招いた学習を増やすなどして英語活動の取組を進める。
- ☆体育科の実技研修会等を実施し、体育授業の改善の取組を進める。
- ☆心の天気による児童理解や授業や家庭での学習等において、**学習者端末の効果的な活用**について研究する。
- ☆校務分掌の見直しや人員の適正な配置、SKIPの活用などによる業務改善を進めていくことで、**勤務時間の適正化**を図る。
- ☆図書館の開館時間を増やしたり、読み聞かせをしたり、電子書籍サービスを活用したりして、**読書への関心を高める**取組を進める。

# 取組① 学年チーム 専科制



#丁寧な指導  
#組織的に対応できる体制  
#授業改善

## 取組② 学力向上の取組

---

- 研究の日：授業研究、研修会等実施
  - ・ 水曜日（5/28,6/11,7/2,9/10,10/15,1/28）
- 授業公開クラス以外は、給食終了後下校
- 教員が大阪市内外の研修会参加
- 総合的読解力育成カリキュラム
  - ・ 大阪市独自の取組
  - ・ 3年生以上、週1時間 時間割に位置づけ
- タスぺ
  - ・ 放課後に自主学習（積極的な参加を）

#丁寧な指導  
#授業改善



## 取組③ 個別最適化 協働的な学びの実現のために

---

### ○ 学習者端末の活用推進

- ・ AIドリル「ナビマ」の活用  
→ 端末を持ち帰り、宿題としても
- ・ 電子図書サービス E-library  
→ 今年度も継続して利用。家でも読めます。
- ・ プレゼンテーション能力（表現力）の育成

#教育DX  
#授業改善

# 取組④ 安心して過ごせる環境のために

## ○ 学校安心ルール（本日案内配付）

### 今福小学校「学校安心ルール」

＜基本的な考え方＞  
○学校安心ルールは、あらかじめルールを明示することにより、子どもたちがしてはいけないことを自覚したうえで、自らを律することができるよう促すことを目的として作成したものです。  
○子どもたちには日頃より、基本的な約束に示されたことがらを心掛けることを伝え、ひとりひとりがルールを守ることの大切さや相手のことを考えることができる、「より良い社会（学校）」をめざしています。  
○第1～3段階の基本となるものは、『体罰・暴力行為を許さない開かれた学校づくりのために』の「児童生徒の問題行動への対応に関する指針」によるものです。

対応 段階	学習の時に	他の子に対して	先生に対して	その他のルールとして	学校等が行うことができる対応
基本的な約束ごと		・嘘をつかない	・ルールを守る	・人に親切にする	・勉強する
第1段階	・授業時間におくれる	・からかう、ひやかす ・無視する ・物をかってに使う	・指導を素直に聞かない ・指導を無視する ・からかう、ひやかす	・物を大切にしない ・自分の机等に落書きする ・学校の物をかってに使う	・その場で注意 ・場合によっては家庭連絡 ・個別指導 ・自己を振り返る活動
第2段階	・授業のじゃまをする ・授業に関係のない話をする ・授業をさぼり校内でたむろする	・仲間はずれにする ・悪口、かげ口を言う ・こわがるようなことをしたり言ったりする	・指導に対して反抗する ・挑発的な態度をとる ・バカにしたようなことを言う	・学校の物をこわす ・夜中に歩き徘徊する ・カードやゲーム等で賭けごとをする	・その場で注意 ・家庭連絡 ・複数の教職員による個別指導 ・数日間の自己を振り返る活動
第3段階	・授業中、故意に妨害をする ・テストのじゃまやカンニングを繰り返す ・学校をさぼり校外にたむろする	・いやがることを無理やりさせる ・暴力をふるう（プロレス技をかけるなども） ・物を故意にこわしたり、すてたりする	・指導に対して激しく反抗する ・こわがるようなことをしたり言ったりする ・押す、突き飛ばす、ぶつけるなどの暴力をふるう	万引きやバイクの無免許運転・飲酒・喫煙など法律に違反するようなこと	・家庭連絡 ・一定期間の別室における個別指導及び学習指導 ・関係諸機関（警察・こども相談センター）と連携し、学校内で指導を行う ・状況によっては個別指導教室を活用した指導
	第3段階よりも重いと思われる事象や違法行為（窃盗や傷害・恐喝行為など）については、学校は教育委員会事務局の担当指導主事と連携し、対応について協議する。				

＜ルール表作成上の留意点＞  
※この「学校安心ルール」（スタンダードモデル）の内容は、教育振興基本計画に示している学校の安心・安全のためのスタンダードモデルです。各小中学校では、スタンダードモデルをもとに学校の実情に応じた学校安心ルールを作成し運用することができます。  
※学校は児童生徒ひとりひとりの状況等も十分にふまえ、対応について判断します。  
※「学校等が行うことができる対応」については、あくまでも例示であり、学校の判断で対応することがあります。  
※「個別指導教室」とは、生活指導サポートセンター内に設置した教室であり、経験豊富な元校長先生等がいつでも丁寧な立ち直し支援を行う場所です。  
※学校生活以外の事案に関しては、段階にかかわらず関係諸機関との連携となる場合があります。（SNSにかかる事案に関しても同様です）

・あらかじめ  
ルールを明示  
・自覚  
（いけないこと）  
納得（もし・したら）  
→安心感

#組織的に対応できる体制



# 取組④ 安心して過ごせる環境のために

## ○ スクールサポートルーム (SSR) の設置 (本日配付)

- ・ 教室以外で学べる場
- ・ 利用ケース

教室に入りづらい (朝起きづらい等)  
一日教室で過ごすことがしんどい。  
→ 1 時間落ちつける場所

- ・ 基本的に自分で学習を進める  
授業配信 スタディサプリの利用
- ・ 利用に際しては、担任まで相談を

令和 7 年 4 月 18 日

保護者の皆様

大阪市立今福小学校  
校長 柳井 友裕

今福小学校「スクールサポートルーム」開設について

平素は本校の教育活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、文部科学省から「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策(COCOLOプラン)」が取りまとめられ、本校においても、様々な理由により教室に入りづらい、ずっと教室にいるのがつらい、学校に来るのが困難な児童がいます。様々な困り感を抱えた児童生徒が安心して登校し、学習等しながら過ごせる環境をと、城東区役所の子育て支援を受けて「今福小学校スクールサポートルーム」を開設することになりました。

以下内容をご確認・ご了承いただいた上で利用される場合は、利用申込書をご記入いただき、ご提出ください。

今福小学校スクールサポートルームについて

- 1 開館時間は午前8:30～午後3:30です。サポーター(一部教員)が見守ります。
- 2 場所は、2号館1階多目的室です。
- 3 学習については、授業配信を見て学習をしたり、問題集やプリント学習を行ったりと、自分で学習を進める形になります。サポーターが、自習支援を行うことはできますが、教員ではないため授業をすることはできません。
- 4 児童が安心して過ごせる環境づくりを第一としています。  
学習だけではなく、談笑するなどリラックスできる時間をとることもあります。
- 5 利用の開始や休止については、本人や保護者の皆様、担任、不登校支援コーディネーターと面談の上決定します。利用申込書をご記入、提出していただきます。

以上について了承した上で、スクールサポートルームの利用を申し込みます。

令和 年 月 日

児童生徒氏名( ) 保護者氏名( )

受付日	担当者名

# 組織的に対応できる体制

# 取組⑥ 豊かな心の育成を目指して

- ・ゲストティーチャーを招いたり、校外の施設を見学したりするなど**体験活動**の充実。
- ・たてわり班活動
- ・異学年交流
- ・委員会活動
- ・クラブ活動を通じて

ECC英語講師による英語学習（1・2年）  
読書活動（お話の会）（全学年）  
ニッセイ名作シリーズ（ミュージカル鑑賞）（4年）  
音楽鑑賞会（いずみホール 5・6年生）  
米作り体験（5年生）  
韓国・朝鮮の文化体験（2・3・5年生）  
こころの劇場ミュージカル鑑賞（6年生）  
茶道体験（4年生）  
キッザニア甲子園職業体験（6年生）  
吉本興業による漫才体験（4・5・6年）  
プログラミング体験（4年生）  
唐木フォトフレームづくり（6年）

【令和6年度実績】

自己有用感（役立つ）

自己効力感（できる）

自己肯定感（認める）

# 連絡事項

---

- ・万博参加について（本日案内配付）  
行かない場合は、担任まで連絡をください。  
開催状況、悪天候では、学校として中止の判断もある。
- ・通級指導教室開設について  
令和8年度→令和10年度に変更  
改めて詳細については案内します。

おわりに

---

お子様のことは、  
学級担任に相談を

学校（教員）のことは、  
管理職（校長・教頭）まで  
相談をしてください。

# 今福小学校の校訓



「**和協**」とは、今福小学校が93年間守り続けている校訓です。「いつもにここに**和やか**で人の気持ちを和らげ、みんなで力を合わせて（**協力して**）がんばりましょう」という意味です。